

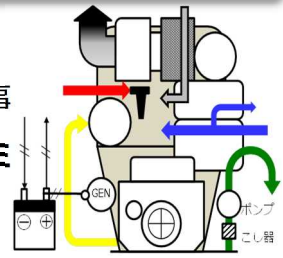
遊漁船・漁船の安全運航のために

～機関故障関連事故等の防止～



機器及び配管系統別の事故等の発生傾向

遊漁船・漁船（総トン数 20 トン未満の小型船舶）における主機、補機器、配管系統、電気系統、推進器等の故障又は不具合による事故及びインシデント（機関故障関連事故等）を故障又は不具合を生じた機器及び配管系統（原因機器）別に分類しました。



電気系統 20%

ピストン、シリンダライナ、クランク軸等が損傷していることが多い



主機・排気ガス系統 17%

火災の原因となることが多い
電気機器、制御装置が使用不可

プロペラ・軸系統 14% プロペラにロープ、網が絡む事例が多い

海水系統 8% 浸水事故の要因、海水配管系統に注意

潤滑油系統 8% 直ちに機関故障となるケースが多い

機関故障を防ぐために発航前点検を行いましょう

- ・ 主機本体の故障は保守整備基準による開放整備、その記録が重要です。
- ・ 火災事故では電気系統に起因した事例が多く、電気配線の劣化に気づいたら交換、電気機器の変調があれば点検することをお勧めします。
- ・ 海水系統による浸水を防ぐため、機関室のビルジの量や過度な船体傾斜に注意しましょう。必ず見回りの項目に取り入れましょう。
- ・ こし器内部や潤滑油中に水分やスラッジがあったり、燃料油の臭いがしたり、汚れが甚だしい場合には油を新替えして、原因を調べましょう。

定期点検及び保守整備をしましょう

船舶所有者は、点検や保守整備を実施した場合、実施日、実施内容をチェックリストに記録しておくこと（機関来歴）が重要です。

※裏面の「定期点検チェックリスト（機関関係）」（例）をご活用ください。



国土交通省 運輸安全委員会事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-1 四谷タワー15F

TEL : 03(5367)5030 e-mail : hqt-jtsb_analysis@gxb.mlit.go.jp

※ 画像はイメージです。

定期点検のチェックリスト（機関関係）

点検と保守整備の項目	実施日 年.月.日	実施日 年.月.日	実施日 年.月.日	実施日 年.月.日
機関シリンダヘッドの開放（吸気弁、排気弁、燃料弁）
機関のピストン及び接続棒の抜き出し、クランク軸の点検
減速機、クラッチの点検
動力伝達装置、自在継手、ベローズ、シール部等の点検
船尾管軸封装置の点検
バッテリーの機能点検、接続端子の清掃及び増締め
電気配線、電気器具の点検 ※電線の被覆及び電気器具本体の状態
電気回路の絶縁抵抗計測（電線間の絶縁抵抗計測を含む）
配電盤、分電盤の接続端子の点検、増締め及び内部清掃

※本表の項目は、船舶所有者の専門知識、経験により実施可能な内容も含まれています。

機関故障検索システム（ETSS） <https://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/etss/> 機関故障部位・部品から事故等調査報告書を検索・活用できます。

機関故障検索システム

